

高木学園 高木暁子理事長(38)

1908年創立の高木学園女子高等学校(横浜市港北区菊名)が、企業との「コラボ商品」を相次いで共同開発し話題を呼んでいる。けん引する同学園の高木暁子理事長(38)は、学校法人の経営者としては異例の若さだが、かつて自動車会社と外資系化粧品会社に勤めており、ビジネス界での経験は豊富だ。生徒と社会との接点を作る意図を聞いた。

「これまでの企業とのコラボレーションは、お話しします」と、高木理事長は、横浜市で「企業とのコラボレーション」をテーマにした講演会に出席し、自身の経験や、学校法人の経営者としての意図を話した。

生徒、企業でコラボ商品



高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。

高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。高木理事長は企業とのコラボレーションを推進している。

東京高専が東芝訪問

最優秀賞アプリ 技術者と議論

今年10月に開催された全国高専プログラミングコンテストで入賞した国立東京高専(東京都八王子市)の学生5人が25日、ITサー...

かながわ経済

東芝グループはスマートフォンコミュニケーション事業の一環としてヘルスケア(健康関連)分野に...



開発したアプリを説明する国立東京高専の学生たち(左)川崎市幸区の東芝ソリューションで...

災害時にLPガス発電



藤沢の老人施設 グリーンライフ湘南

東日本大震災直後のガソリンなどの燃料不足、計画停電の経験を踏まえ、介護老人福祉施設グリーンライフ湘南(藤沢市石川)は、災害対応型のLPガスの貯蔵タンクと発電機を導入した。設置に協力したLPガスを扱う会社「トール」(横浜市港北区)の担当者...

ライフライン 寸断でも「安心」

業所があるトールの毛塚一朗・横浜営業第一課長は、震災直後、茨城に約1カ月応援に入ったという。余震が続く中、ポンプが倒れていないかなど保守点検や、ガスボンベへの充填に回った。ガソリンでなくLPガスで走る車両を使っている...

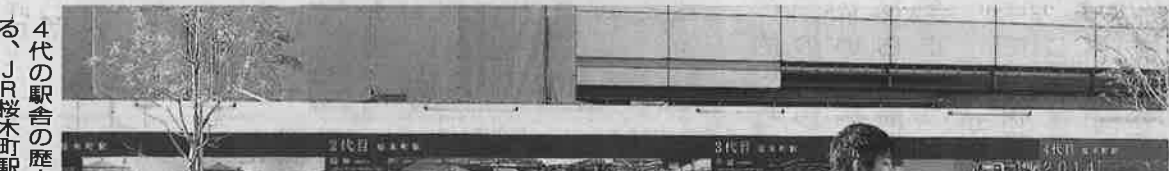
一方、グリーンライフ湘南の宮部美佐子・施設長は計画停電や燃料不足で混乱した震災時に発電すると、自動的に始動し、電気が付く仕組み。毛塚さんは「発電機と言えは軽油と灯油で、ガスの発電機は新参。まだ十分知られていないけれど、安定して供給できる強みがある」とPR。宮部施設長も「災害がある地域の方も来ることになるだろう。これに非常時も安心」と話した。

小田原地下街 来秋営業再開

1月に改修開始

2007年6月から閉鎖状態が続いている小田原駅東口の小田原地下街について、小田原市は25日、来年秋のオープンに向け、1月下旬から改修工事に着手すると発表した。

JR桜木町駅 工事用仮囲いで歴史を紹介



4代の駅舎の歴史を、JR桜木町駅

天皇杯準決勝でブランケット2500枚 県サッカー協会は、県サッカー協会は、日産スタジアム(横浜市港北区)で29日午後1時5分にキックオフする第93回天皇杯全日本サッカー選手権の準決勝、横浜F・マリノス対サガン鳥栖戦の来場者2500人に、ブランケットをプレゼントする。